

持続可能な開発のための教育(ESD)プロジェクト

国連大学サステナビリティ高等研究所



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-IAS

Institute for the Advanced Study
of Sustainability

ESDプロジェクトについて

国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS) は、国連機関のシンクタンクとして、研究と能力開発を通じて緊急性の高い地球規模の課題の解決に取り組むことを使命とする国連大学の研究所の一つです。UNU-IASは、他の国際機関や学術機関と協力しながら、大学院レベルの教育と能力育成を行なっています。

国連持続可能な開発のための教育の10年 (DESD: Decade of Education for Sustainable Development, 2005-2014年) が国連総会で決議されたのを受けて、UNU-IASは日本の環境省の支援の下、2003年に持続可能な開発のための教育 (ESD: Education for Sustainable Development) プロジェクトを立ち上げました。ESDプロジェクトは、ESDの概念の普及、ESDに関する地域拠点 (RCE) の推進、高等教育機関のESD活動の強化、能力開発と国際的なプロセスへの貢献を主眼としています。

2014年のDESD終了後、ESDプロジェクトはグローバル・アクション・プログラム (GAP: Global Action Programme on ESD) を実施することによって、ESDのさらなる導入、加速と主流化を進め、これらの活動を通じて持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) の達成に貢献してきました。

ESDプロジェクトの目的と目標

ESDプロジェクトは、持続可能な開発のための世界的な学習の場 (Global Learning Space) の構築に貢献することを目指しています。地理的境界、知識やセクターの垣根を超えて、ESD推進のためのパートナーシップを促進する研究と活動を行っています。

ESDプロジェクトは、この目的を実現するため、以下の目標を掲げて活動しています。

- ▶ 持続可能な開発の課題に対する地域における解決策の加速
- ▶ 持続可能な社会の構築に向けた高等教育の変革
- ▶ 持続可能な開発とESDに関する知識や能力の形成、および科学と政策のつながり (インターフェイス) の強化

これらの目標は、持続可能な開発の主要領域に取り組む戦略的パートナーシップを構築し、その活動を展開していく上で中核となるものです。

主要なイニシアティブ

ESDプロジェクトは、グローバルに展開するESDの地域拠点 (RCE: Regional Centres of Expertise on ESD) と持続可能な教育を推進する高等教育機関ネットワークのプロスパーネット (ProSPER.Net: Promotion of Sustainability in Postgraduate Education and Research Network) の二つの主要なイニシアティブを通じて、研究と開発アジェンダを実施しています。



Photo credit: RCE Yogyakarta.

地域に根ざしたイニシアティブ - RCE

ESDプロジェクトは、世界中でESDに関する地域拠点 (RCE) の構築と発展を支援しています。RCEは持続可能な未来の実現のために、教育をツールとした取り組みを行っている個人、組織、専門家などのネットワークです。RCEは地域に根ざしたESDの拠点で、RCEのメンバーはそれぞれの地域が直面する課題に関する深い知見を持っています。

RCEは、教育、トレーニング、情報共有、対話、地域およびグローバル・レベルでの協働を通じて、SDGsに取り組むことを目指しています。RCEのネットワークは、学校や大学などのフォーマル教育と、公園、博物館、民間企業、地方自治体、NGO、メディアなどのインフォーマル教育の両方に対応しています。RCEは、ESDと持続可能な開発の主要テーマにおける政策、研究、開発分野での協働事業を行っています。

高等教育機関のイニシアティブ - ProSPER.Net

ProSPER.Net (アジア太平洋環境大学院ネットワーク) は、ESDを推進するアジア太平洋地域の主要な学術機関のネットワークです。2008年の設立以降、加盟機関は46に増えています。

高等教育機関のコンソーシアムとして、ProSPER.Netは大学のカリキュラムや研究に持続可能な開発を組み込むことを目指す活動や共同研究を行い、持続可能な開発分野における研究の推進と能力強化に取り組んでいます。

持続可能な開発に関する知識や能力

ESDプロジェクトは、ESDのモニタリングと評価、持続可能な開発の課題に効果的に対応するための個人と組織の能力を高めるマルチレベル・メカニズムの開発に着目しながら、ESDの実践を促進するために、専門家会合や共同研究プロジェクトを実施しています。また、持続可能な開発を目指す高等教育機関の政策と取組に関する研究の一環として、大学院プログラムでの教育とカリキュラム開発にも携わっています。

さらに、東南アジア諸国連合 (ASEAN) の10か国と日中韓の3か国の政策立案者やビジネス・リーダーを対象とした「持続可能な消費と生産に関するASEAN+3 リーダーシップ・プログラム」も実施しています。

加えて、国際的なプラットフォームやプロセスにおけるESDの議論に貢献するため、国連欧州経済委員会 (UNECE) が設立したESDのための知識を議論する専門家グループにも参加しています。

REGIONAL CENTRE OF EXPERTISE
ON EDUCATION FOR
SUSTAINABLE DEVELOPMENT

ACKNOWLEDGED BY



UNITED NATIONS
UNIVERSITY



パートナー

UNU-IASは、ウブントウ宣言 (Ubuntu Declaration on Education, Science & Technology for Sustainable Development) の署名機関で構成されるウブントウ同盟 (Ubuntu Alliance) と緊密に連携しています。

ウブントウ同盟の目的は以下の通りです。

- ▶ 科学技術分野の研究者や教育者の連携強化
- ▶ 持続可能な開発のための教育プログラムへの科学技術の反映
- ▶ フォーマル教育とインフォーマル教育の協働の促進

ウブントウRCE審査委員会 (Ubuntu Committee of Peers for the RCEs) は、RCEの申請書類を審査し、新しいRCE認定を推薦するため、年に一度開催されます。UNU-IASはESDのリード機関であるUNESCOや他の国連機関と連携しています。また、RCEとProSPER.Netのメンバーに加え、ASEANやUNECEのような研究・政策決定機関とも連携しています。

マルチステークホルダー・ネットワークの促進

2005年から2014年のDESDの間、RCEは以下の活動を行ってきました。

- ▶ 多様な研究分野におけるテーマ別ネットワークの構築と強化
- ▶ 地域、国、グローバル・レベルでの政策立案者への働きかけ
- ▶ 共同研究、能力開発、モニタリングと評価の実施
- ▶ RCEアワードを通じて優れたESD活動を認定
- ▶ 学びの共有のためのESD学習事例 (learning cases) とRCEポータルサイトの開発

RCEは、持続可能な開発に関するグローバルな政策とビジョンを、地域のニーズや現状に合わせて実施することができます。また、その活動、教育、研究において革新的な方法を生み出すことにより、RCEはグローバル・アクション・プログラムの優先行動分野とESDプロジェクトの優先重点分野に貢献する原動力となってきました。

持続可能な開発のための高等教育機関の連携

ESDプロジェクトは、世界中の高等教育機関と連携・協力しながら、持続可能な開発とESDの国際的なプロセスに沿って、科学・社会・政策のインターフェイスを強化する革新的な研究、学習法、教授法を展開しています。

ProSPER.Netは、共同研究と能力開発を通じて、ESDのためのカリキュラムを開発し、持続可能な社会づくりを担う人材を養成し、持続可能な開発の幅広い課題に対応することを目指しています。また、ProSPER.Netのメンバーは、グローバル・アクション・プログラムの優先行動分野に貢献することに取り組んできました。とりわけ、ESDに関する知識の普及、革新的な研究の促進、高等教育に関する政策への働きかけを通じて、学びとトレーニングの環境を変革することに力を注いでいます。



Photo credits (from left): RCE Okayama and RCE Hyogo-Kobe.

国際的なプラットフォームやプロセスへの働きかけ

RCEとProSPER.Netは、地域レベルのESD活動を、国際的なプラットフォームやプロセスと連動させるために二人三脚で取り組み、他のグローバルなネットワークと連携して活動しています。ESDプロジェクトは、持続可能な消費と生産、生物多様性と生態系サービス、気候変動と災害リスクの軽減、高等教育に関するイニシアティブなどの領域において重点的に活動を展開しています。多様なステークホルダーを巻き込んだESD活動は、以下のよう

- ▶ グローバル・アクション・プログラム (GAP)
- ▶ 生物多様性および生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム (IPBES) と生物多様性条約 (CBD)
- ▶ 気候変動に関する国連枠組条約 (UNFCCC) 第6条 (教育・訓練・普及啓発)
- ▶ 仙台防災枠組2015-2030
- ▶ 高等教育サステナビリティ・イニシアティブ (HESI)、フューチャー・アース、リオ+20高等教育における人々によるサステナビリティ協定などの高等教育に関するイニシアティブ

ESDプロジェクトのいま

RCEとProSPER.Netのメンバーを支援し、コミュニケーション、ネットワーク、研究や活動を促進するため、UNU-IASはグローバルRCEサービスセンターとProSPER.Net事務局の役割を担っています。RCEとProSPER.NetはDESDを支援し、その活動を通じてESDの認知度を高めることに寄与しました。2018年現在、世界には160以上のRCE地域拠点が立ち上げられ、ProSPER.Netメンバーは46に増え、ESDのためのグローバル・アクション・プログラムに貢献してきました。

RCE

RCEは日本、ケニア、デンマークといった国々の政府から、ESDを実践するために有効で戦略的なイニシアティブと認められています。ASEAN環境教育アクション・プランは、RCEを戦略的パートナーとして認定しています。

ProSPER.Net

ProSPER.Netは現在、以下の共同プロジェクトや活動を展開しています。

- ▶ 大学院生向けの持続可能な開発をテーマとした若手研究者スクール (ProSPER.Net Young Researchers' School)
- ▶ 多様な分野における持続可能な実践をリードするスキルの習得を目的とするリーダーシップ研修 (ProSPER.Net Leadership Programme)
- ▶ 社会的起業スキル、公共政策、貧困削減、工学、経営、生物多様性、気候変動、エネルギー、持続可能な生産と消費などをテーマとした事例研究や教材の開発

研究と出版物

ESDプロジェクトは、ESD、RCEおよびProSPER.Netに関する研究を行い、論文、書籍、教材、ポリシー・ブリーフなどを出版しています。出版物は、UNU-IAS、RCE、ProSPER.Netのウェブサイトからダウンロードすることができます。



お問い合わせ

国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS)
ESDプロジェクト
<http://ias.unu.edu>

RCEポータル
<http://www.rcenetwork.org/portal/>
rceservicecentre@unu.edu

ProSPER.Netウェブサイト
<http://prospernet.ias.unu.edu>
prospernet@unu.edu